

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

No.1
大隅森林管理署

記番	森 林 事務所	調査場所		林齢	伐採方 法	伐採率 (%)	調査方法	予定面積 (ha)	予定材積 (m ³)	極印	測量	区域 表示	距離 (km)	表示方 法	林地 傾斜	下層 植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量 プロット	復命書 作成見 込み数	3Dレーザ 標本ライン設定	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考 (複数樹種の場合は樹種 名を入力)
		国有林	林小班																							
1	垂水	光石	104 く	70	皆伐	100	樹高曲線	3.08	1,331	有	コン パス	有	1.0	ペンキ	緩	疎	11	11.1	有	2		分収造林	20		垂水	スギ・ヒノキ・広葉樹
2	垂水	湯之谷	114 ち	60	皆伐	100	樹高曲線	12.16	4,864	有	コン パス	有	1.5	ペンキ	緩	中	7	12.6	有	2		分収造林	30		垂水	ヒノキ・広葉樹
3	垂水	後平	117 ち	69	皆伐	100	樹高曲線	4.73	1,471	有	コン パス	有	1.3	ペンキ	中	中	16	15.6	有	1		国有林	100		垂水	スギ・ヒノキ・広葉樹
4	垂水	後平	117 ち1	65	皆伐	100	標準地	3.17 (0.16)	710 (36)	有	コン パス	有	1.0 0.2	ペンキ	緩	中	13	15.6	有	1		国有林	100		垂水	ヒノキ・広葉樹
5	垂水	猿ヶ城	122 わ	44	皆伐	100	樹高曲線	10.68	4,560	有	コン パス	有	2.2	ペンキ	中	密	23	9.7	有	2		分収造林	30		垂水	スギ・広葉樹
6	垂水	猿ヶ城	122 よ	79	皆伐	100	樹高曲線	0.69	287	有	コン パス	有	0.4	ペンキ	中	中	13	9.7	有	2		分収造林	30		垂水	スギ・広葉樹
7	垂水	猿ヶ城	122 た	79	皆伐	100	樹高曲線	1.35	562	有	コン パス	有	0.7	ペンキ	緩	中	11	9.7	有	2		分収造林	30		垂水	スギ・広葉樹
8	志布志	霧岳	2103 ん3	52	皆伐	100	樹高曲線	0.93	243	有	コン パス	有	0.6	ペンキ	中	中	6	9.5	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
9	志布志	市林	1111 ち8	52	皆伐	100	樹高曲線	0.69	168	有	コン パス	有	0.6	ペンキ	急	中	15	16.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
10	志布志	市林	1111 ち9	50	皆伐	100	樹高曲線	0.79	239	有	コン パス	有	0.3	ペンキ	急	中	18	16.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
11	志布志	霧岳	2116 い	62	皆伐	100	樹高曲線	7.31	2,405	有	コン パス	有	2.0	ペンキ	中	中	5	15.8	有	2		分収造林	30		志布志	ヒノキ・広葉樹
12	志布志	霧岳	2108 て	50	皆伐	100	樹高曲線	0.58	204	有	コン パス	有	0.3	ペンキ	中	中	5	9.9	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
13	志布志	霧岳	2103 な	58	皆伐	100	樹高曲線	4.59	1,460	有	コン パス	有	0.8	ペンキ	中	中	9	2.8	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
14	志布志	霧岳	2103 や	51	皆伐	100	樹高曲線	5.08	1,864	有	コン パス	有	1.6	ペンキ	急	中	16	3.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
15	志布志	霧岳	2103 む	50	皆伐	100	樹高曲線	1.46	489	有	コン パス	有	1.1	ペンキ	中	中	7	2.9	有	1		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ
	合計																									No.2へ

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

(別紙)

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

No.2
大隅森林管理署

記番	森 林 事務所	調査場所		林齢	伐採方 法	伐採率 (%)	調査方法	予定面積 (ha)	予定材積 (m ³)	極印	測量	区域 表示	距離 (km)	表示方 法	林地 傾斜	下層 植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量 プロット	復命書 作成見 込み数	品質区分 条件 (3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考 (複数樹種の場合は樹種 名を入力)
		国有林	林小班																							
16	志布志	霧岳	2103 た	50	皆伐	100	樹高曲線	1.06	407	有	コン パス	有	0.6	ベンキ	中	中	7	2.4	有	1		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ
17	志布志	霧岳	2103 う	42	皆伐	100	樹高曲線	1.40	522	有	コン パス	有	0.6	ベンキ	緩	中	2	3.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
18	志布志	霧岳	2103 え(1)	42	皆伐	100	樹高曲線	2.08	622	有	コン パス	有	0.8	ベンキ	緩	中	5	4.9	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
19	志布志	霧岳	2103 え(2)	42	皆伐	100	樹高曲線	0.72	215	有	コン パス	有	0.6	ベンキ	緩	中	5	4.9		2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
20	志布志	宮谷	2112 む	65	皆伐	100	樹高曲線	1.18	356	有	コン パス	有	0.5	ベンキ	緩	中	5	17.8	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
21	志布志	中川内	2152 ほ1	61	皆伐	100	樹高曲線	0.27	97	有	コン パス	有	0.3	ベンキ	中	中	11	11.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・広葉樹
22	志布志	中川内	2152 に	54	皆伐	100	樹高曲線	2.94	941	有	コン パス	有	1.1	ベンキ	急	中	9	11.1	有	2		分収造林	30		志布志	ヒノキ・広葉樹
23	志布志	宮谷	2112 と	61	皆伐	100	樹高曲線	2.84	1,020	有	コン パス	有	0.9	ベンキ	中	中	7	17.2	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
24	志布志	宮谷	2112 め	61	皆伐	100	樹高曲線	0.75	249	有	コン パス	有	0.4	ベンキ	緩	中	5	17.2	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
25	志布志	前岳	2147 い	61	皆伐	100	樹高曲線	3.91	1,325	有	コン パス	有	2.1	ベンキ	緩	中	4	8.2	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
26	志布志	前岳	2148 そ	61	皆伐	100	樹高曲線	3.88	1,447	有	コン パス	有	1.8	ベンキ	中	中	3	9.0	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
27	志布志	前岳	2148 れ	61	皆伐	100	樹高曲線	5.92	2,226	有	コン パス	有	1.4	ベンキ	中	中	3	9.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
28	志布志	新馬鹿	2151 わ	62	皆伐	100	樹高曲線	8.48	3,188	有	コン パス	有	1.5	ベンキ	中	中	8	9.5	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
29	志布志	中川内	2152 は	56	皆伐	100	樹高曲線	4.20	1,193	有	コン パス	有	1.4	ベンキ	中	中	10	11.1	有	2		分収造林	30		志布志	スギ・ヒノキ・広葉樹
30	根占	大鹿倉	3076 わ	73	皆伐	100	樹高曲線	11.05	8,100	有	コン パス	有	1.6	ベンキ	中	中	18	7.1	有	2		分収造林	20		根占	スギ・ヒノキ・広葉樹
	合計																									No.3へ

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。

収穫調査委託箇所の概要

1号物件(立木販売)

記番	森 林 事務所	調査場所		林 齢	伐採方 法	伐採率 (%)	調 査 方 法	予定面積 (ha)	予定材積 (m ³)	極印	測量	距離 (km)	区域 表示	距離 (km)	表示方 法	林地 傾斜	下層 植生	歩行時間 (分)	通勤距離 (km)	成長量 プロット	復命書 作成見 込み数	品質区分 条件 (3Dレーザのみ)	林名区分	官収割合	伐造簿面積(ha) (複層伐の場合のみ)	担当区	備考 (複数樹種の場合は樹種 名を入力)
		国有林	林小班																								
31	根占	大鹿倉	3076 る	67	皆伐	100	樹高曲線	4.23	986	有	コン パス	1.0	有	1.0	ペンキ	緩	中	23	7.1	有	2		分収造林	30		根占	スギ・広葉樹
32	高山	落平	59 ほ①	72	皆伐	100	樹高曲線	3.16	1,997	有	コン パス	1.1	有	1.1	ペンキ	中	中	5	10.4	有	1		分収造林	30		高山	スギ・ヒノキ
33	高山	落平	59 ほ②	72	皆伐	100	樹高曲線	2.26	1,342	有	コン パス	0.8	有	0.8	ペンキ	中	中	5	10.2	有	1		分収造林	30		高山	スギ・ヒノキ
34	高山	落平	59 ほ③	72	皆伐	100	樹高曲線	4.87	2,713	有	コン パス	1.2	有	1.2	ペンキ	中	中	7	10.4	有	2		分収造林	30		高山	スギ・ヒノキ・広葉樹
35																											
36																											
37																											
38																											
39																											
40																											
41																											
42																											
43																											
44																											
45																											
	合計							122.49 [119.48]	49,803 [49,129]			35.1 0.2		35.1 0.2												区域面積122.49ha	

注1 測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2 歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注3 通勤距離は、最寄りの市町村役場等から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測または図上距離などから算定した目安値である。
注4 標準地調査では予定面積欄の上段は記番区域面積、()を標準地(実調査面積は標準地面積)とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の距離とする。
注5 合計の上段は収穫予定区域面積及び材積、下段[]を調査区域面積及び材積とし、距離欄の上段は記番、下段は標準地の測量と区域表示の合計距離とする。